

ごあいさつ



取締役頭取

大城 勇夫

皆さまには、平素より、りゅうぎんをご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。本年も、多くの皆さまにりゅうぎんをより一層ご理解いただくために、「琉球銀行の現状 2003年版ディスクロージャー誌」を作成いたしました。

昨今の金融機関を取り巻く環境は、デフレ経済の進行に伴う資金需要の減退、企業の業況悪化、株価・地価の下落など厳しさを増す一方、業種を越えた競争も激化しております。このような状況のなか、当行がお客さまからの信認を得て、県内経済に安

定的に資金を供給し、その発展に寄与していくためには、「安定した収益基盤の確立」が欠かせないと考えております。

こうしたなか、当行は、本年4月より新たな中期経営計画 Quality 2003(クオリティ 2003、2年計画)をスタートさせました。「スピード & クオリティ」をキャッチフレーズに、これまでのスピード重視に加え、高いクオリティ(品質)を追求することによって、品質の違いを求めるお客さまの要望に的確にお応えしてまいります。

Quality 2003においては、「業務プロセスの簡素化」「サービス品質の向上」「不良債権問題の抜本的解決」をキーワードに掲げ、中小企業向け貸出・個人ローンの拡大、預り資産の推進による役務収益の増強、ローコスト経営体質の構築に向けた引き続きの経費削減、企業再生支援等を中心とする貸出資産の良化促進などに取り組んでまいります。

あわせて、当行の目指す銀行像である「まかせてバンク」を目標に、「お客さまが必要とするときに必要な商品・サービスを迅速に提供」する銀行の実現に向け、新商品・新サービスの提供など顧客利便性の向上に取り組むとともに、お客さまの信頼、期待に応えるために、行員の人材育成、経営情報の積極的開示にも取り組んでまいります。

おかげさまで当行は、本年5月で創立55周年を迎えることができました。今後も、沖縄県のリーディングバンクとしての使命と役割を認識し、役職員一丸となって21世紀に勝ち残っていける「強い銀行」、地域の経済・社会により一層お役に立てる「沖縄になくてはならない銀行」を目指してまいります。

平成 15 年 7 月